

全国海運組合連合会

第371回理事会及び賀詞交歓会開催



全国海運組合連合会（全海運）は2024年1月25日（木）、東京都千代田区平河町にある海運クラブに於いて第371回理事会及び賀詞交歓会を開催した。

理事会には、理事35名（2名の指定代理人を含む）、オブザーバー1名、当連合会事務局4名の総勢40名の参加があった。

会議冒頭、藏本会長は能登半島地震及び羽田航空機衝突事故の発災に触れ、被災された皆様、被害に遭われた方々へ心からのお見舞いのお言葉を申し上げた。また、昨年1年間の国内外の情勢や内航海運業界の動向を振り返るとともに、本年の抱負について述べられた。

理事会では、「船主連絡協議会（貨物船部会）2023年度オペレーター訪問」概要の説明・報告、並びに「安定・効率輸送推進委員会」、「船員対策委員会」、「内航海運業者の評価制度構築に向けた検討会」関係について各委員より会議開催報告及び情報共有等があり、各議題について参加者から様々な意見や提言が寄せられ、活発な意見交換が行われた。

全海運 会長及び各副会長



理事会の様子



この後、会場を移して賀詞交歓会が開かれ、寺岡副会長より開会挨拶及び乾杯のご発声
で幕を開け、各テーブル穏やかな雰囲気の中、交流を深めた。

最後に、クジ引きで選ばれた関東沿海 岩井理事より中締めのご挨拶を賜り、その後、
同所属 小比加元会長にもご壇上いただき、お二方による万歳三唱で締めくくった。

寺岡副会長



小比加元会長(手前) 及び 岩井理事(奥)



懇親会の様子

